



成人図書室だより 秋号



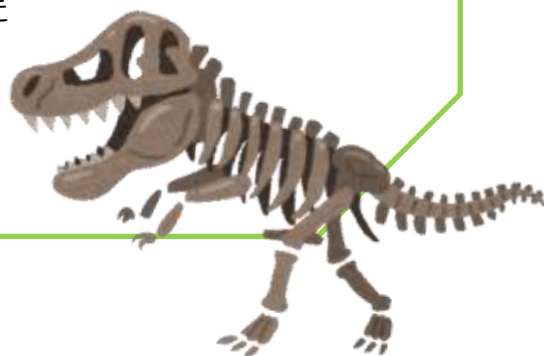
今年度の成人図書室だよりのテーマは「記念日」です。



10月15日は、化石の日です

日本古生物学会が制定。日本の化石、古生物学の象徴の日として、より多くの人に化石や古生物学に関心を持ってもらうのが目的。日付は日本を代表する化石でアンモナイトの一種である *Nipponites mirabilis*（ニッポニテス・ミラビリス）が新種として報告された1904（明治37）年10月15日から。

引用文献：『すぐに役立つ 366 日記念日事典 下巻』
（加瀬 清志/著 創元社 2020 年）より



関連本をご紹介します



オルドビス紀の生物
「サカバンバスピス」

『化石の復元、承ります。』 木村由莉／監修 ブックマン社 2022 年

遙か昔、地球上に生きていた生物の姿や生態に触れることができる博物館の展示。その化石が展示に至るまでにはたくさんの人々が関わっています。この本では、骨格レプリカ、生体模型、展示手法に精通したプロフェッショナルのことを「古生物復元師」と呼び、その仕事を知ることができます。化石となった生き物を、生きていた頃の姿へと再び蘇らせる職人技に圧倒されます。

457.8
カ

『『種の起源』を読んだふりができる本』 更科功／著

ダイヤモンド社 2025 年

タイトルの通り、この本を読むことでダーウィンの名著『種の起源』を読んだふりができる本です。「読んでも忘れてしまうであろう部分は割愛して、記憶に残りそうな部分だけ」を読むことで『種の起源』を全て読んだ時と、同じ状態をつくる……というユニークな本です。難解なポイントも分かりやすい解説がついているので入門書にもおすすめです。

467.5
サ

関連する図書は、他にもございます。

お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。



9月のテーマ展示 災害の備えを見直そう



9月1日「防災の日」にちなんで、防災や地震、津波、火山噴火、豪雨などの自然災害に関連する本を展示します。

『今さら聞けない防災の超基本』 永田宏和／監修

朝日新聞出版 2024年

2000年以降の四半世紀だけでも、日本全国災害が発生しています。地震だけに留まらず、豪雨や台風による土砂崩れ、火山の噴火などなど……。備えること、実際の災害が起きた時のシミュレーション、その後の避難生活を快適に過ごすためには何が必要か、確認しておきませんか？
被害にあわなかったときに何ができるのかも提案する一冊です。

369.3

イ

『教養としての災害と考古学』 山本誠／著 淡交社 2026年

『なぜ私たち現代人は、津波の被害を受ける場所に住み始めたのか』『我々の祖先はなぜそこで生活を行い、なぜその遺跡から立ち去ってしまったのか？』（「はじめに」、10pより引用）。考古学者である著者が東日本大震災をきっかけに災害と考古学、遺跡との関連について疑問を抱き始めた調査内容がまとめられています。残された遺跡から生活を見つめ直す本となっています。

210.2

ヤ



2026年秋 読書の記録



日付	書名	著者名	メモ



10月のテーマ展示 一目みて気になる本



表紙や背表紙のデザイン、タイトル、本に一目惚れすること
もめずらしくない！ちょっと気になる本を集めてみました。

『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』

神田桂一、菊池良／著 宝島社 2017年

太宰治などの文豪に限らず、星野源や池上彰といった著名人までカップ焼きそばの作り方を説明してくれる本作。なんの変哲もない焼きそばの作り方が、各々の作風で見事に書き分けられており、個性豊かな表現に驚くこと間違いなしです。読み終わると、無性に焼きそばを食べたくなります！

913.7

カ

『名曲の曲名』 茂木大輔／著 音楽之友社 2024年

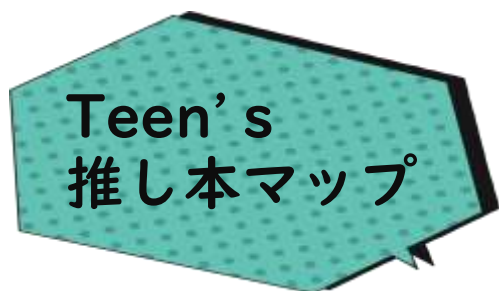
クラシックの曲名には、音楽の歴史が詰まっている！？数字や記号が入っていて覚えづらいクラシックの曲名ですが、なぜこの名前になったのかを知れば、曲名だけでなく、曲が作られた背景まで知ることができます。N響での演奏経験のある著者が、ウィットに富んだ解説とともにクラシックの世界へご案内します。

760

モ

ティーンズコーナーイベント

10/1 START!



参加方法はティーンズコーナーにて配布する
「推し本カード」に好きな本を書いてマップに
貼るだけ！（大人の方はティーンズ世代へ
おすすめの本を貼ってください）

お題の本を借りて、ビンゴを目指そう！
ティーンズコーナーでビンゴシートを配布
します。シートに書かれた条件クリアで
しおりや記念品をGETできます。





11月のテーマ展示

「文化の日」を楽しもう！



11月3日は「文化の日」です。ハンドメイド、料理、工芸、スポーツ、音楽、執筆活動、研究……文化的営みにチャレンジしてみませんか？

『ラブカは静かに弓を持つ』 安壇美緒／著 集英社 2022年

全日本音楽著作権連盟に務める橘樹は、裁判で対立するミカサ音楽教室に潜入し、チェロのレッスンに通いながら、「演奏権」侵害の証拠を集めることになった。次第に、講師や他の生徒と信頼関係が芽生え、自分のスパイ行為に悩み始める。果たして、無事に潜入調査を終えられるのか！？

913.6

アダ

『日日是好日』 森下典子／著 新潮社 2008年

四季により変化するお手前、茶花、和菓子、掛け軸など茶道の作法と、著者がお茶を通して学んだことを綴ったエッセイです。お茶のお稽古の描写は静寂と心地よい緊張感があり、読み手がまるでその場にいるかのような臨場感を味わえます。茶道初心者の方も楽しめる作品です。

文庫本です

791

モリ

Ⓑ

テーマ図書は、カウンター横の書棚に展示しています。

お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。

京都市中央図書館

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2

☎075(802)3133

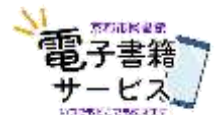
■開館時間

平日：9時30分～20時まで(児童図書室は17時まで)

土日祝日：9時30分～17時まで

■休館日

毎週火曜日(火曜が祝日の場合は翌平日)、年末年始



※京都市図書館の事業は(公財)京都市生涯学習振興財団が実施しています